



平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社 鈴木 上場取引所 東
コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 倉田 一 TEL 026-251-2600
四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績（平成24年7月1日～平成25年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	13,494	1.6	708	△8.8	740	△1.3	294	5.0
24年6月期第3四半期	13,277	6.6	777	△10.5	749	△8.0	280	△20.8

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 744百万円 (79.3%) 24年6月期第3四半期 415百万円 (19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	47.50	—
24年6月期第3四半期	45.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	16,862	11,446	65.1
24年6月期	16,708	11,016	63.4

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 10,978百万円 24年6月期 10,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年6月期	—	0.00	—		
25年6月期（予想）				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想（平成24年7月1日～平成25年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,001	12.1	1,131	19.7	1,156	18.2	504	45.1	81.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年6月期3Q	6,195,000株	24年6月期	6,195,000株
25年6月期3Q	2,184株	24年6月期	2,184株
25年6月期3Q	6,192,816株	24年6月期3Q	6,192,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により内需に回復傾向が見られたものの、長引く欧州債務問題の深刻化、中国経済の減速等、先行きは不透明な状況で推移しました。一方、昨年末の政権交代を契機として、積極的な金融緩和への期待から株価が上昇に転じるとともに、為替相場も円安傾向にあり景気回復への期待感が高まっております。

当社グループにおいては、カーエレクトロニクス関連部品が、北米での高需要に後押しされ堅調に推移しましたが、スマートフォン、タブレット型端末向けなどのコネクタ用部品が調整基調となりました。また、機械器具セグメントの中の医療組立事業は、市場が堅調であることに加え、新アイテムの増加などにより順調に推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、部品事業の生産効率向上に向けた取り組みを継続するとともに、経営の安定化に向け、新規事業分野への進出を含めた各施策を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は134億9千4百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益7億8百万円（前年同期比8.8%減）、経常利益7億4千万円（前年同期比1.3%減）、四半期純利益2億9千4百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、9頁「(5)－Ⅱ－3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①金型

自動車向け金型は、海外向け需要の下支えにより安定的に受注量を確保し堅調に推移しました。一方、電子機器向け金型は、部品の海外生産比率の拡大が進むなかで金型の海外調達も進む傾向にあることに加え、国内市場の悪化が重なったことにより低迷しました。

その結果、売上高は9億3百万円（前年同期比14.8%減）、セグメント利益は9千6百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

②部品

電子機器関連は、テレビ、パソコン向け部品の低迷が続くなかで、これまで主力としてきたスマートフォン、タブレット型端末向け部品も調整基調となりました。一方、カーエレクトロニクス関連は、北米での高需要に後押しされ堅調に推移しました。

その結果、売上高は111億5千9百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は10億4千3百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

③機械器具

専用機のうち自動車関連装置は、高需要に後押しされ一定量の受注を確保しましたが、SMT関連装置及び半導体関連装置は、市場の低迷により設備投資が抑制され厳しい受注環境となりました。また、医療組立事業は主力製品の市場が堅調なことから、新アイテムの増加などにより順調に推移しました。

その結果、売上高は14億2千8百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は1億7千7百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

④その他

賃貸事業を行っております。売上高は3百万円（前年同期比0.0%）、セグメント利益は1千9百万円（前年同期比39.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は73億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千8百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が3億5千6百万円減少し、現金及び預金が6千1百万円、仕掛品が5千3百万円、原材料及び貯蔵品が6千5百万円、その他流動資産が1億5千9百万円増加したことによるものであります。固定資産は95億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千2百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が3億9千2百万円、無形固定資産が6百万円増加し、有形固定資産が1億4千万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は41億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千9百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が3億8千3百万円減少し、短期借入金が3億7千1百万円増加したことによるものであります。固定負債は12億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千5百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2億5千7百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は114億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が1億3千9百万円、その他有価証券評価差額金が2億4千4百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。従いまして、現時点におきましては、平成24年8月10日に公表しました業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方針に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14,074千円増加しております。なお、報告セグメントごとの影響額につきましては、セグメント情報等に記載のとおりであります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,895	1,806,275
受取手形及び売掛金	4,005,180	3,649,101
商品及び製品	102,247	101,465
仕掛品	481,042	534,291
原材料及び貯蔵品	750,748	815,942
その他	258,520	417,553
流動資産合計	7,342,635	7,324,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,437,663	3,587,657
機械装置及び運搬具（純額）	3,090,785	3,043,110
土地	1,233,666	1,233,666
その他（純額）	497,036	254,560
有形固定資産合計	8,259,152	8,118,994
無形固定資産	68,360	75,191
投資その他の資産		
投資有価証券	806,269	1,199,215
その他	232,552	145,822
貸倒引当金	△915	△915
投資その他の資産合計	1,037,906	1,344,122
固定資産合計	9,365,419	9,538,308
資産合計	16,708,054	16,862,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 867, 946	1, 769, 514
短期借入金	816, 426	1, 187, 458
1年内返済予定の長期借入金	434, 853	342, 672
未払法人税等	185, 853	137, 563
賞与引当金	83, 186	277, 435
役員賞与引当金	38, 600	46, 520
その他	755, 699	372, 088
流動負債合計	4, 182, 565	4, 133, 252
固定負債		
長期借入金	457, 436	200, 432
退職給付引当金	674, 812	678, 417
役員退職慰労引当金	376, 600	404, 080
固定負債合計	1, 508, 848	1, 282, 929
負債合計	5, 691, 413	5, 416, 182
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 435, 300	1, 435, 300
資本剰余金	1, 439, 733	1, 439, 733
利益剰余金	7, 531, 252	7, 670, 573
自己株式	△1, 130	△1, 130
株主資本合計	10, 405, 155	10, 544, 476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218, 153	462, 938
為替換算調整勘定	△38, 659	△29, 228
その他の包括利益累計額合計	179, 493	433, 709
少数株主持分	431, 992	468, 569
純資産合計	11, 016, 641	11, 446, 756
負債純資産合計	16, 708, 054	16, 862, 938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	13,277,853	13,494,573
売上原価	11,518,079	11,768,754
売上総利益	1,759,774	1,725,819
販売費及び一般管理費	982,527	1,016,969
営業利益	777,246	708,849
営業外収益		
受取利息	326	323
受取配当金	6,557	6,570
受取賃貸料	4,639	3,928
スクラップ売却益	3,915	4,087
為替差益	—	22,472
その他	6,020	8,323
営業外収益合計	21,460	45,705
営業外費用		
支払利息	12,887	13,686
為替差損	35,888	—
その他	2	691
営業外費用合計	48,777	14,378
経常利益	749,928	740,176
特別利益		
固定資産売却益	5,642	24,012
負ののれん発生益	—	9,864
その他	137	—
特別利益合計	5,779	33,876
特別損失		
固定資産売却損	610	2,736
固定資産除却損	1,915	2,474
投資有価証券評価損	1,693	1,594
会員権評価損	800	—
貸倒引当金繰入額	495	—
その他	0	—
特別損失合計	5,514	6,805
税金等調整前四半期純利益	750,194	767,248
法人税、住民税及び事業税	376,564	359,403
法人税等調整額	△33,883	△76,867
法人税等合計	342,680	282,536
少数株主損益調整前四半期純利益	407,513	484,711
少数株主利益	127,401	190,569
四半期純利益	280,112	294,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	407,513	484,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,267	244,785
為替換算調整勘定	△609	15,041
その他の包括利益合計	7,657	259,826
四半期包括利益	415,171	744,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,983	548,357
少数株主に係る四半期包括利益	127,187	196,180

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,059,910	11,023,839	1,190,323	13,274,073	3,780	13,277,853	—	13,277,853
セグメント間の内部売上高又は振替高	324,871	△271,073	167,356	221,153	47,776	268,930	△268,930	—
計	1,384,781	10,752,766	1,357,679	13,495,227	51,556	13,546,784	△268,930	13,277,853
セグメント利益	175,857	1,029,502	152,921	1,358,281	14,079	1,372,360	△595,114	777,246

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△595,114千円には、セグメント間取引消去△7,121千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△602,530千円、棚卸資産の調整額2,185千円及びその他の影響額12,352千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	903,179	11,159,240	1,428,373	13,490,793	3,780	13,494,573	—	13,494,573
セグメント間の内部売上高又は振替高	232,623	△177,241	154,208	209,590	50,600	260,190	△260,190	—
計	1,135,802	10,981,999	1,582,581	13,700,383	54,380	13,754,763	△260,190	13,494,573
セグメント利益	96,793	1,043,057	177,312	1,317,162	19,700	1,336,863	△628,014	708,849

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△628,014千円には、セグメント間取引消去△12,298千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△635,226千円、棚卸資産の調整額17,201千円及びその他の影響額2,309千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「部品」セグメントにおいて、連結子会社の持分を追加取得したこと等により、負ののれん発生益を計上しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9,864千円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
(報告セグメントの区分方法の変更)

「自動機器事業」と「その他」に含めていた「医療組立事業」は、両事業の関連性が強くなってきたため、組織の新設に合わせて一体管理していくこととしたので、第1四半期連結会計期間より事業セグメントの統合を行い、名称を「機械器具」といたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より当社グループの報告セグメントを「金型」「部品」「機械器具」の3つに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(減価償却方法の変更)

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「金型」で366千円、「部品」で11,059千円、「機械器具」で1,858千円、「その他」で140千円増加しており、また、各報告セグメントに配分していない全社費用が649千円減少しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。